

JDS 受入大学要望調査(2026 年度)
調査票① 受入提案書

応募される開発課題毎に作成をお願いします。10 フォント使用、日本語で原則 3 ページ以内。

大学名・研究科名			
専攻、コース、プログラム名			
調査票①に係る担当者・連絡先 (照会先)	役職・名前 Tel:	E-mail:	
国名			
開発課題(コンポーネント)名	No.	「	」
JDS 留学生が取得可能な学位 名称及び必要単位数・修学期間	①	/	単位 / ヶ月
	②	/	単位 / ヶ月

以下の点を踏まえたご提案をお願いします。

- ① 受入国が重視する開発課題の解決に資する専門知識の習得ならびに機会の提供
- ② 将来、政府中枢で政策立案・決定にリーダーシップを発揮する人材となるための指導内容
- ③ 提案内容は、評価ポイントに基づき評価されますので、各ポイントを踏まえてご記載ください。赤字【重視する評価ポイント】箇所はご確認後、削除いただいて構いません。

1	指導 内 容	(1) 対象国の開発課題に対する指導方針・内容	【重視する評価ポイント】 ・対象国の開発課題に合致したプログラムとなっているか ・政策立案能力(課題分析、情報収集・分析、政策形成・提案・発信等の能力)を身に付けることができ、実践的な内容となっているか ・留学生の所属機関や専門性、研究テーマに合わせて、柔軟な研究指導が可能な内容・指導方針となっているか ※JDS 留学生が履修可能なカリキュラム一覧を添付願います。
		(2) 公的機関等でのインターンシップ機会や公的機関等を対象にした特別プログラム・フィールドワーク等の機会 ¹	※ いずれかに○をつけてください。 有() 無()
		上記(2)の具体的な事例	【重視する評価ポイント】 ・二国間関係強化への貢献が期待される日本の公的機関等(中央省庁、自治体や開発課題に関連する企業)でのインターンシップやフィールドワーク、訪問等の機会の提供を通じて、日本の行政等を学ぶ機会が提案されているか
		(3) 知日人材育成に向けた日本語教育の充実度	【重視する評価ポイント】 ・JDS 生に対し、日本語クラスが提供され、継続的に日本語学習に取り組める教育環境が整備されているか
2	指導 体 制	(4) 指導体制の特徴・内容	【重視する評価ポイント】 ・研究科・大学組織として安定的かつ継続的に同じ教育環境・指導体制を提供できる内容か ・チューター配置、ティーチングアシスタント配置等のチームによる指導及び学習支援体制があるか ※JDS 留学生を指導される(可能な)教員一覧を添付願います。

¹JDS 事業では、将来各国のリーダーとなる知日派の行政官を育成し、二国間関係の強化に貢献することを目的としています。そのため、日本の公的機関等(中央省庁、地方自治体、開発課題に関連する企業等)におけるインターンシップ、フィールドワーク、訪問などの機会を提供する提案を高く評価します。

3	留学生受入実績	(5) 留学生の受入実績及び成果(実績がない場合は)、留学生受入意向 【重視する評価ポイント】 ・当該国、当該分野における JDS 留学生または他留学生の受入実績がある、もしくは JDS 留学生受入の意向及び体制が明確であるか。また、帰国留学生(JDS 以外も含む)の活躍事例があるか
4	生活面でのサポート	(6) 大学及び各研究科における生活面でのサポート 【重視する評価ポイント】 ・JDS 生に対する学生生活のサポート体制は充実しているか -英語対応が可能な留学生支援センターや健康管理室の有無 -JDS 生が(優先的に)利用可能な国際学生寮の有無 -日本人学生や地域住民との交流機会の充実度 -日本文化体験の機会の充実度 -JDS 生が参加可能な課外活動や利用可能な施設の充実度